

あらかわ

荒川市民センターだより

発行 青森市荒川市民センター
〒030-0111 青森市荒川字柴田 129-1
TEL 017-739-2343
FAX 017-739-2343

講座レポート

和尚さんと話そう

～心に響く法話とお話し会～ (7/16)

7月16日(木) 講座「和尚さんと話そう～心に響く法話とお話し会～」が開催されました。講師は、正覚寺(浄土宗)住職の楠美知剛さんです。楠美講師は、ここ荒川市民センターで「写経」の講座を年2回持たせてもらっていて、そのご縁から本講座を快諾した経緯をお話されて、講座が始まりました。

前半は、①**仏教の教えについて**、②**日本における仏教の歴史**、③**仏教的な考え方**、④**生きる支えとしての信仰**、という4つのテーマで法話がありました。特に④に関して、15年前に東日本大震災で被災した50代の女性から「こんなに苦しいのに、なぜ生きなければならないか」と相談を受けた際、「頑張れ」という励まししか言えなかった未熟な自分を後悔している。父の死を契機に、いつかあの世に行ったとき、父から「お前も住職として一人前になったな」「いつもお前のことをあの世から見ているぞ」と言ってくれている気がして、**自分の生きる支え**になっている。**「極楽浄土を信じる人生 何かが違う」**と、今なら、15年前に相談を受けた女性に僧侶の立場から自信を持ってアドバイスできると、語っていたのが印象的でした。

後半は、アットホームな雰囲気の中、仏教に関わる質問に丁寧に応えて講座は終了しました。

【主な質疑応答】

Q1: 通夜、葬式での焼香は、何回行うのが作法なのか。

A1: 良い香りを仏様に捧げるという観点から、1回の方が、良い香りがする。

Q2: 百か日を過ぎないと神社に行けないというしきたりがあるが…。

A2: 仏教には、「穢(けが)れ」という考えはない。死は「仏様」になられたのであって、忌み嫌うことではない。よって、忌中でも神社を参拝してよい。

Q3: ペットは念仏を話せないし、意味が分からないのに供養はできるか。

A3: 「回向(えこう)」という考えがあり、仏教の功德を衆生(動物を含む一切の生命ある存在)の成仏に回し向けて供養することができる。



回向について説明する楠美講師

市民センターから

豪雪の爪痕・・・完治！

全国ニュースになるほど、豪雪となった青森…。幸いなことに、頑丈なセンターの建物自体には被害はありませんでしたが、春になって雪解けが進むと、毎年恒例となった多目的ホールの雨漏り。利用者の皆さんにはご不便をおかけしながらも、バケツを置くなどのいつもの対応をしていました。ところが、さすがの豪雪、今年は水だけではなく、**天井の石膏ボード**まで落ちてきてしまいました！利用者がいない時間に、落下したため、けが人もなく、床が白くなる程度ですみましたが、高すぎる天井、塞げない穴、次の落下への備え…。数か月の間、落下しそうな部分に、フェンスを置くなどして対応しました。バスケットボールやテニスのラインにかかってしまうこともあり、利用者の皆さんにはご不便をおかけしました。

そして、ついに、**多目的ホールの天井が修復されました！**そして、**雨水を逃がすように加工**もしていただき、一安心です。**きれいになった天井、気持ちがいいですね。**センターができてから、29年目、いろいろ不具合も出てきますが、なるべくご不便をおかけしないよう職員もがんばってまいります。これからも、ご利用お待ちしております。



修復前の天井の穴(左と右上)、傷跡が分からない修復後の天井(右下)

7月25日(土)「夏休み子ども工作教室～わら細工～」という講座を開催しました。小学生6人と引率した保護者の皆さんも参加しました。講師は、稲垣「藁の会」会長の野崎克行さんです。稲垣「藁の会」は2004年に結成され、つがる市を中心に藁工芸の制作・伝承活動を行い、東北農政局より「ディスカバー農山漁村の宝」で表彰された優良団体です。同会のメンバー5人もアシスタントとして参加しました。「藁とは何か」をクイズ形式で説明した後、藁を束にすると、二度とほつれない「巻き結び」の結び方をみんなで練習し、その後、「かかしっこ」というわら細工人形の制作に入りました。野崎講師の分かりやすい説明に従って、スモールステップで確認しながら少しずつ進んでいきます。アシスタントの手厚い支援もあり、全員がオリジナルの「かかしっこ」を完成させました。完成した「かかしっこ」をダンボールの土俵に置き、紙相撲ならぬ“「かかしっこ」大相撲荒川場所”をトーナメントで行い、子どもも大人も忸度なしの真剣勝負で大いに盛り上がり、夏休みの工作と良い思い出ができた一石二鳥の楽しい講座になりました。



実演する野崎講師(左) 大相撲荒川場所(中) 優勝した「かかしっこ」(右)

【わら細工人形「かかしっこ」の作り方】

- ①藁一束(100g)に霧吹きをかけて柔らかくする。
- ②後で髪の毛にする穂先を15cmほど切り取る。
- ③残った藁束を2等分し、細い藁と太い藁を重ねて均一の太さの藁束にする。
- ④真ん中を麻糸で「巻き結び」をする。
- ⑤下半分を持って、上半分の藁を1本ずつ下の方へ折り曲げて胴体(頭、顔を含む)を作る。
- ⑥顔の長さを決め、色紐を「巻き結び」してから巻き付けて服に見立てる。
- ⑦正面の服の左右の藁で腕を作り、長さや角度を微調整する。
- ⑧切り取っておいた穂先を髪の毛に見立て、頭に刺す。
- ⑨顔に目や口を、服に模様を油性ペンで描いて完成(写真)。



お勧め講座・イベントのご案内! (10～11月)

楽しくおどろう! Let's レクダンス

開催日: 10月8、15、22、29日(木)は
と時間 10:00～12:00
11月1日(日)は 10:00～11:00
場 所: 多目的ホール
講 師: レクダンス講師 平野 恵子
対 象: 18歳以上
定 員: 15人
受講料: 無料
準備物: 運動しやすい
服装、汗拭き
タオル、内履き、水分補給用飲料



※楽しく踊って、運動不足解消&ストレス発散!

知って安心! 終活講座

開催日: 11月4、11日(水)
時 間: 10:00～12:00
場 所: 会議室A
講 師: 行政書士 工藤 昌栄
対 象: 18歳以上
定 員: 20人
受講料: 無料
準備物: 筆記用具



※今から知って、はじめて、わくわくする老後を!

編集後記

市民センターでは、市民の皆様の興味・関心を引き付ける様々な講座を開催し、サークル活動を行っています。学習活動に取り組む姿は、明るく元気で楽しさに溢れています。今後もそのような生涯学習の取組を紹介する紙面作りを行い、市民の皆様の学習活動を支援してまいります。

〈取材・編集〉

青森市中央市民センター1F
青森市生涯学習推進員室
TEL 017-734-0164 (内線 36)
荒川市民センター担当: 奈良原、田中